

熊本県感染症情報 (第21週)

県内154定点医療機関からの報告数 5/23～5/29

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	0	0
2	RSウイルス感染症	1	1
3	咽頭結膜熱	12	10
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	4
5	感染性胃腸炎	442	378
6	水痘	6	4
7	手足口病	7	5
8	伝染性紅斑(りんご病)	0	3
9	突発性発しん	37	36

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	0	2
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	5	1
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	7	2
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	1
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

感染性胃腸炎

報告数: 442件 (前週: 378件) 地区別: 菊池、有明、人吉 年齢別: 1歳 107件 (24.2%)

突発性発しん

報告数: 37件 (前週: 36件) 地区別: 菊池、山鹿、有明、宇城 年齢別: 1歳 18件 (48.6%)

咽頭結膜熱

報告数: 12件 (前週: 10件) 地区別: 水俣、宇城、熊本 年齢別: 1歳 9件 (75%)

【レジオネラ症に注意しましょう!!】

今週(第21週)はレジオネラ症の報告が3件(今年累計: 11件)ありました。昨年同週の報告数は0件(昨年同期累計: 10件)でした。全国では7月や9月に多いですが、近年の発生数は増加傾向にありますので、今後も注意が必要です。症状などからレジオネラ症かもしれないと思った場合には、早めに医療機関を受診し、治療につなげましょう。

【レジオネラ症について】(参考: 厚生労働省及び国立感染症研究所ホームページ)

・レジオネラ症とは?

自然界(河川、湖水、温泉や土壌など)に生息しているレジオネラ属菌による細菌感染症です。ヒトからヒトへ感染することはありません。

・症状は?

感染してから症状が出るまでの期間は、2～10日です。主な病型としては、重症のレジオネラ肺炎と軽症のボンティアック熱が知られています。

レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。まれですが、心筋炎などの肺以外の症状が起こることもあります。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。軽症例もあるものの、適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。

これに対し、ボンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは一過性のもので、自然に治癒します。

・治療は?

マクロライド系、ニューキノロン系やリファンピシン等の抗菌薬で治療することができます。早期診断、早期治療が重要です。

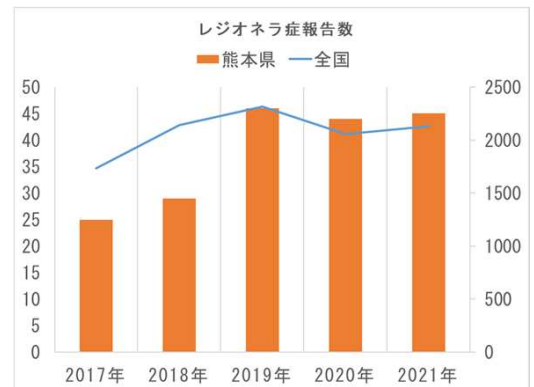
・リスクが高い方は?

高齢者や新生児は肺炎を起こす危険性が通常より高いので、注意が必要です。また、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人は、レジオネラ肺炎のリスクが高いとされています。

・予防方法とは?

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい霧やしぶき)の吸入、温泉浴槽内や河川で溺れた際に汚染された水を吸引・誤嚥、汚染された腐葉土の粉じんを吸い込んだことによる感染事例が報告されていますので、

- ・加湿器の水は毎日交換し、容器を洗浄しましょう。
- ・循環式浴槽は定期的に洗浄を行いましょう。
- ・土いじりや農作業、高圧洗浄などの作業を行う際は、マスクを着用するなどの対策を取りましょう。



熊本県感染症情報 (第21週)

報告期間	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週	第18週	第19週	第20週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	4/4~ 4/10	4/11~ 4/17	4/18~ 4/24	4/25~ 5/1	5/2~ 5/8	5/9~ 5/15	5/16~ 5/22	5/23~ 5/29	5/2~ 5/8	5/9~ 5/15	5/16~ 5/22
インフルエンザ	0	0	0	1	0	0	0	0	11	6	4
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0
咽頭結膜熱	3	5	0	0	2	1	1	1	303	292	536
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.06	0.10	0.00	0.00	0.04	0.02	0.02	0.02	0.10	0.09	0.17
感染性胃腸炎	5	2	3	7	4	10	10	12	359	553	569
水痘	0.10	0.04	0.06	0.14	0.08	0.20	0.20	0.24	0.11	0.18	0.18
手足口病	2	8	5	7	3	7	4	6	564	839	1,015
伝染性紅斑	0.04	0.16	0.10	0.14	0.06	0.14	0.08	0.12	0.18	0.27	0.32
突発性発しん	243	258	340	297	179	283	378	442	8,297	13,021	15,488
ヘルパンギーナ	4.86	5.16	6.80	5.94	3.58	5.66	7.56	8.84	265	4.15	4.94
流行性耳下腺炎	2	2	5	5	5	3	4	6	222	271	226
急性出血性結膜炎	0.04	0.04	0.10	0.10	0.10	0.06	0.08	0.12	0.07	0.09	0.07
細菌性髄膜炎	1	2	7	3	4	6	5	7	336	381	582
無菌性髄膜炎	0.02	0.04	0.14	0.06	0.08	0.12	0.10	0.14	0.11	0.12	0.19
マイコプラズマ肺炎	1	1	1	0	1	0	3	0	44	46	42
クラミジア肺炎	0.02	0.02	0.02	0.00	0.02	0.00	0.06	0.00	0.01	0.01	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	27	28	24	32	44	33	36	37	969	1,148	1,264
	0.54	0.56	0.48	0.64	0.88	0.66	0.72	0.74	0.31	0.37	0.40

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

- 3類感染症
腸管出血性大腸菌感染症: 1件(今年7件)
- 4類感染症
日本紅斑熱: 1件(今年4件)
レジオネラ症: 3件(今年11件)
- 5類感染症
水痘(入院例): 1件(今年4件)
梅毒: 2件(今年64件)

参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計
(令和4年(2022年)5月29日現在)
令和4年(2022年) 7人(患者:4人 無症状病原体保有者:3人)
昨年同期 11人(患者:6人 無症状病原体保有者:5人)

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

感染性胃腸炎 : 菊池

【病原体検査情報】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2021/22シーズン(R3.9/6~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	0件	0件	0件	0件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
16件 (41件)	6件 (4件)	0件 (7件)	0件 (0件)	0件 (9件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
1件 (1件)	4353件 (1530件)				

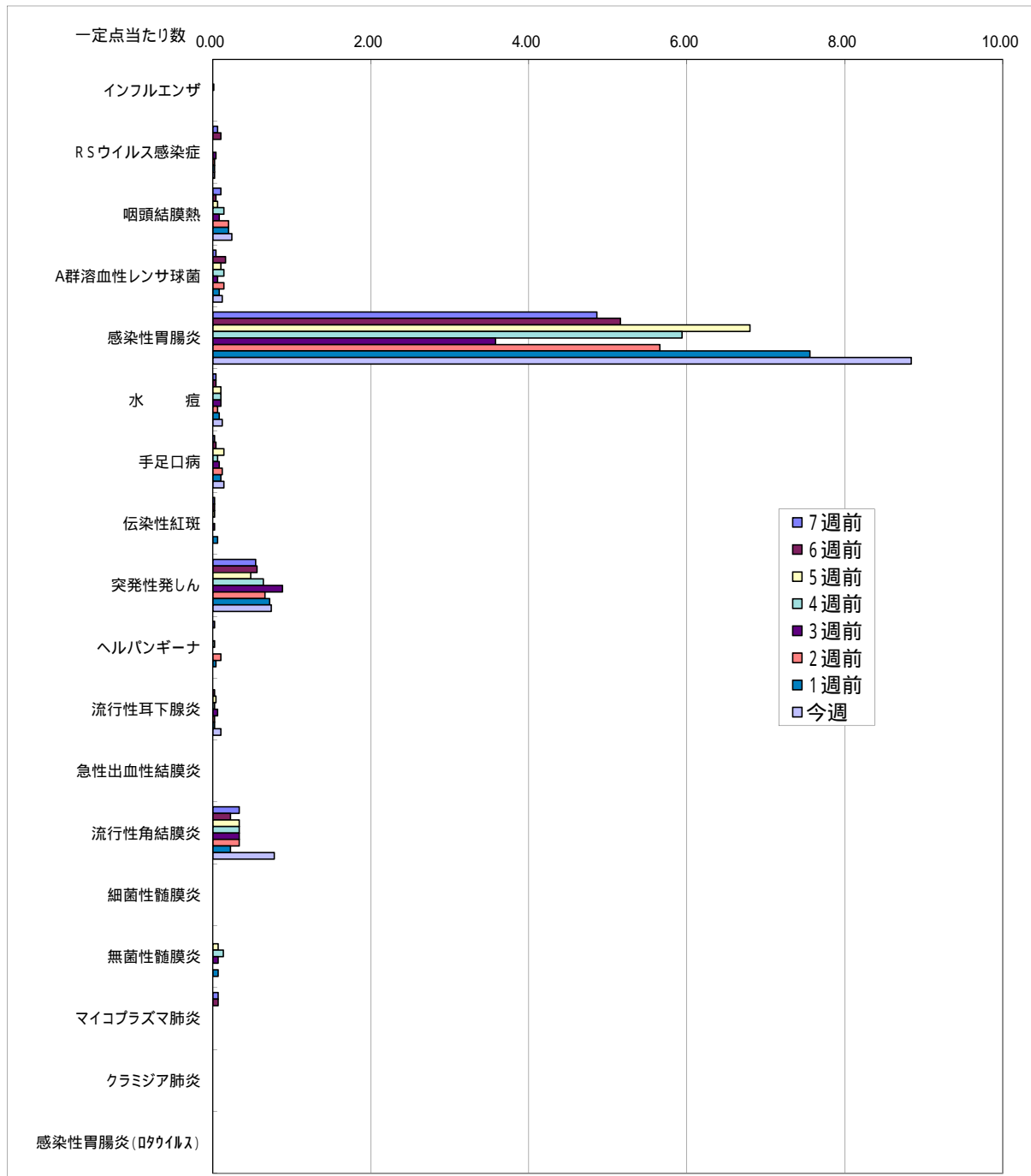
(カッコ内は昨シーズン累計)

感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R4.1/3~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (3件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	1件 (1件)	0件 (4件)

(カッコ内は昨シーズン累計)

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。

保健所別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

第21週

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0	0	4	1	122	2	2	0	11	0	1	0	6	0	0	0	0	0
2	山鹿保健所	0	0	0	0	3	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	0	1	0	1	169	0	2	0	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	0	0	0	1	26	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	0	0	4	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	0	0	0	0	23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	0	0	1	1	40	3	1	0	5	0	2	0	1	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	0	0	3	1	21	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	0	0	0	1	9	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	12	6	442	6	7	0	37	0	5	0	7	0	0	0	0	0

保健所別一定点当り患者報告数

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0.00	0.00	0.25	0.06	7.63	0.13	0.13	0.00	0.69	0.00	0.06	0.00	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	山鹿保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.50	0.00	1.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	0.00	0.20	0.00	0.20	33.80	0.00	0.40	0.00	1.80	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	7.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	0.00	0.00	0.00	0.25	6.50	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	0.00	0.00	2.00	0.00	3.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	7.67	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	0.00	0.00	0.20	0.20	8.00	0.60	0.20	0.00	1.00	0.00	0.40	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	0.00	0.00	0.75	0.25	5.25	0.25	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	天草保健所	0.00	0.00	0.00	0.25	2.25	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	0.00	0.02	0.24	0.12	8.84	0.12	0.14	0.00	0.74	0.00	0.10	0.00	0.78	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

